

子どもたちの 元気をサポート

先月号に引き続き、「田村っ子の元気を支援する事業」をお知らせします。今回は、市内7中学校の取り組みを紹介します。



常葉中学校

今年度の本校のテーマでもある「将来に役立つ力をつけるために、視野を広げ、主体的に学習する生徒の育成」を目指し、学習テキスト、合唱指導、教育講演会などに幅広く活用しています。写真は生徒と希望保護者を対象に、「学習や部活動に生かすメンタルトレーニング」と題したテーマで、福島大学教授の白石豊氏に講演いただいた時のものです。

船引中学校

本校では、10月26日、31日、11月1日の3日にわたり学年ごとに「ふれあい体験活動」を実施しました。五色沼を散策し、近くの施設でバーベキューをし、心身ともにリフレッシュできた一日になりました。生徒にとって、この体験は、裏磐梯の紅葉と食欲の秋を肌で感じたとともに、学年や学級の絆を深め、友達の良さを認め合うことができました。



船引南中学校

10月31日に全校生徒で新潟県立自然科学館に行ってきました。プラネタリウムや展示物など、たくさん見所があり、生徒たちは目を輝かせて見学していました。笑顔で見学している生徒の姿からは、以前よりも生き生きとした様子が感じられました。この事業を通して、生徒の成長していく姿が見られ、充実した一日となりました。

移中学校

本校では、体育の授業、部活動、行間運動やレクリエーション活動、校内スポーツ大会などの充実に向け、生徒の心と体の健康増進に向けて取り組んでおります。新しく購入したエアロバイクなどの運動用具により、生徒たちが生き生きと活動する様子が見られ、日々の中学校生活が充実したものとなっています。

滝根中学校

「映画鑑賞」と「学習旅行」を実施しました。映画鑑賞はアンケートにより「宇宙兄弟」を鑑賞しました。学習旅行では、1年生が世界文化遺産の「日光」、同じく3年生が「平泉」に出かけて歴史的な建造物のすばらしさを肌で感じてきました。2年生は「仙台」を自分たちの計画で自由に探索する班別自主活動をしました。生徒は楽しく充実した一日を過ごすことができました。



都路中学校

「キャリア講話」として、オランダで活躍するピアニスト木山尚子さんに、具体的な体験や経験に基づいた講話と演奏をしていただきました。生徒にとって、夢や希望を持つて将来の生き方や生活を考える良い機会になりました。12月には、全校生徒でいわき方面への体験型の学習旅行を行うなど、この事業を有効に活用しています。



大越中学校

各教室の生徒用学習机の天板を購入し、新しくしました。古い天板との交換作業は、夏休みを活用し、生徒と教師の共同作業で行いました。これで机の凸凹はなくなり、学習に適したきれいな机になりました。作業を通して、生徒に物を大切にすることを自覚させることができました。8月から新しい机で心機一転、日々の学習に一生懸命取り組んでいます。